

岩手県立大学 平成 28 年度卒業年次生

学生生活アンケート

調査結果（抜粋）報告書

平成 29（2017）年 3 月

目次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果の要約	2

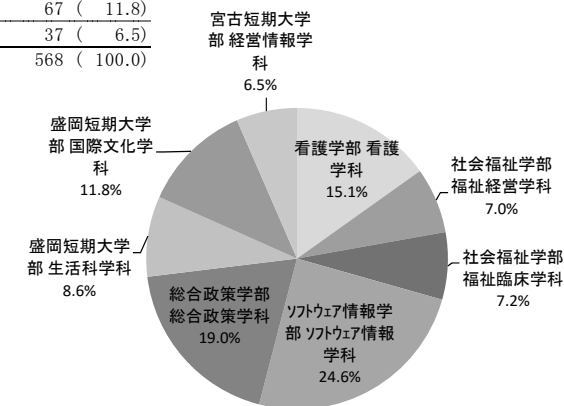
岩手県立大学
Iwate Prefectural University

1. 調査の概要

- ①実施時期： 平成 28 年 12 月 16 日～平成 29 年 2 月 13 日
②対象者： 岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部
平成 28 年度卒業年次生（760 名）
③回答者： 572 件（回収率：75.3%）
※うち 4 件は期日遅れのため集計に含めていない。
④集計対象回答者： 568 件（回収率：74.7%）
④集計対象回答者内訳：

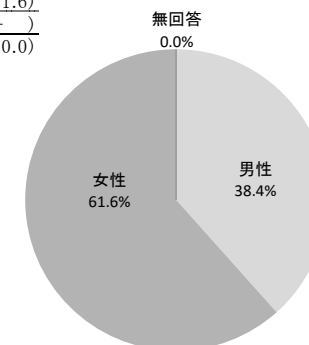
1. 所属

1. 看護学部 看護学科	86 (15.1)
2. 社会福祉学部 福祉経営学科	40 (7.0)
3. 社会福祉学部 福祉臨床学科	41 (7.2)
4. ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科	140 (24.6)
5. 総合政策学部 総合政策学科	108 (19.0)
6. 盛岡短期大学部 生活科学科	49 (8.6)
7. 盛岡短期大学部 国際文化学科	67 (11.8)
8. 宮古短期大学部 経営情報学科	37 (6.5)
合計	568 (100.0)



2. 性別

1. 男性	218 (38.4)
2. 女性	350 (61.6)
3. 無回答	0 (-)
合計	568 (100.0)



2. 調査結果の要約

○学生生活について

- 回答者の出身地は、岩手県 67.1%のほか、青森県 8.1%、秋田県 7.6%と続き、東北 6 県の出身者が全体の 92.6%を占めている。
- 回答者の住居の状況は、アパート 54.2%、自宅 39.8%、その他となっており、通学方法は、鉄道 29.4%、自家用車 24.1%、バス 21.5%の順となっている。
- 「滝沢キャンパスに学生寮があったとしたら入寮を考えましたか」との質問に対し、17.7%が「入寮を考えた」と回答している。
- 回答者の1ヶ月の平均収入額は、全体として総額 76,401 円、自宅生は 57,951 円、自宅生以外は 88,316 円であった。
- 学内のサークル活動に参加していた割合は、全体の 66.9%。ボランティア活動に参加したことのある学生が全体の 47.0%、学外のクラブ・サークル活動 14.6%、地域活動(町内会などの活動)11.8%、国際交流活動 9.5%となった。
- 入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことのある学生の割合は全体の 15.1%、その内約 9%が交通事故である。
- 在学中の学生生活全般の充実度は、全体の 95.0%が肯定的回答(「とても充実していた」「やや充実していた」となっている)。

○教育全般について

- 自ら設定した学習達成目標を「達成できた」「ほぼ達成できた」という肯定的回答は、全体の 79.6%。
- キャリア形成に関わる正課の授業(「人間と職業」、「職業と倫理」など)を履修した割合は、全体の 72.4%。これまでの調査と比較すると全体として「履修した」割合は大幅に増加している。
- インターンシップ・体験学習(正課の実習を除く)を体験した学生の割合は、全体の 49.6%。体験した学生の割合は、前年度と比較して 2.5%増加している。
- 外国語を習得するため、正課の授業以外で何らかの取り組みをした学生の割合は、全体の 26.5%。取り組みの内容としては、「資格試験(TOEIC、英検など)に挑戦した」22.4%、「通信教育や教材で自学した」5.5%等となっている。
- 在学中に海外渡航の経験を有する学生は、全体の 18.3%。所属別では、盛岡短期大学部国際文化学科が 70.1%と突出して多い。
- 教育の仕組みや施設・教育機材、事務室の対応等に関する満足度は、約 78%～94%の範囲で、複数の項目において向上傾向が見受けられる。否定的意見の割合が 2 割を超えているのは「単位互換や留学等の教育の仕組み」(21.5%)のみである。

○図書館について

- 図書館の利用頻度は、「月に 1～2 日」26.6%、「週に 1～2 日」20.2%、「年に数回」16.7%、「試験期間に利用」10.2%の順となっている。所属によって利用頻度にばらつきが見られる。
- 図書館の利用目的は、「学習場所として(自学自習)」76.4%、「図書閲覧・貸出」69.9%、「図書・雑誌を利用した調べもの」44.4%の順に多くなっている。

- 図書館の利用満足度は全体的に高く、滝沢キャンパス、宮古キャンパスともに、全ての項目で肯定的意見が 87%を超えている。

○健康サポートセンター、学生サポートサロン、学生相談室、保健室について

- 健康サポートセンター、学生サポートサロン、学生相談室(滝沢キャンパス)、保健室(宮古キャンパス)については、利用したことがない学生も多いが、利用者の満足度は非常に高く、すべての項目で 95%以上となっている。
- 宮古キャンパスにおいては、ハード・ソフト面の両面において利用者の肯定的意見の割合は本年度調査では 100%となっている。

○卒業後の進路、就職活動等について

- 卒業後の進路については、「就職(公務員以外)」が 68.8%、「就職(公務員)」が 11.8%、「[学部卒業生]大学院への進学(本学)」が 4.2%等となっている。
- 卒業後の居住予定地は、「岩手県」が全体の 44.7%である。特徴的なのはソフトウェア情報学部において、「東京都」が 32.9%と最も高くなっており、「岩手県」は 30%となっている。
- 就職予定先または進学先について、「第1希望である」「第1希望に近い」と回答した割合は全体の 77.5%。学科別に若干の差異がみられる。
- 就職先を選択する場合に重視する項目は、全体としては「仕事内容(やりがい)」62.9%、「賃金・賞与」61.5%、「希望する勤務地であること」45.0%の順であった。
- 就職活動の状況については、5社以上の企業訪問・説明会に参加した学生が 57.0%、5社以上に応募した学生が 38.8%となっている。また、55.2%が 3社以上受験している。内定企業数は 1社のみが 49.7%である。
- 岩手県出身者で岩手県以外の都道府県に就職等を予定している者のうち、「何らかの時期で(岩手県内へ)Uターンを考えている」と回答した割合は 60.9%となっている。
- 卒業生に対し、母校から提供して欲しいサービスやサポートは、「求人情報等の提供」46.1%、「地元への転職等の相談への対応」28.2%、「キャリアセミナー等の開催」17.6%、「印刷物・メールマガジン等による大学の最新情報の提供」12.1%の順となっている。
- 大学の就職支援サービスについて、利用したことがある者の満足度は項目ごとに若干の差異があるが、92.9%～96.5%の範囲で高い満足度と言えよう。

○大学への要望等

- 自由記述では教育内容や学生支援、施設・環境などに関する要望や在学中のサポートなどに関する謝辞等の記述があった。

以上